

九条北小学校 校長室だより

NO.20 令和5年8月6日



原爆が投下されてから78年目の今日、広島平和祈念公園で「平和祈念式典」が行われました。ぜひ平和について考える機会としたいです。式典内で読まれた広島の小学校の6年生による「平和への誓い」を掲載しました。



★ 夏休み！ ～いつもの夏休みが帰ってきました！！★

コロナが5類に移行し、様々な活動が復活しました。今年は、茨住吉神社の例祭も例年通り行われ、亀甲太鼓や獅子舞などの巡行も行われました。子ども神輿も復活し、暑い中でしたが、参加した児童たちは元気に神輿を担いでいました。また、ラジオ体操も復活し、たくさんの児童が参加してくれたと聞いています。夏休み後半も有意義に過ごし、2学期に元気な姿を見せてくれるのを楽しみにしています。



★ 8月6日「ヒロシマ平和祈念式典」～子ども代表「平和への誓い」！！★

みなさんにとって「平和」とは何ですか
争いや戦争がないこと

差別をせず、違いを認め合うこと

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること
身近なところにも、たくさんの平和があります

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱

皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体

子どもの名前を呼び「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親
たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました

「なぜ、自分は生き残ったのか」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました

原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、
生きていくことへの苦しみを与え続けたのです

あれから78年が経ちました

今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました

「生き残ってくれてありがとう」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています

私たちにもできることがあります

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること

友だちのよいところを見つけること

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと

今、平和への思いを一つにするときです

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます

誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます

令和5年(2023年)8月6日 こども代表

広島市立牛田小学校6年 勝岡(かつおか) 英玲奈(えれな)

広島市立五日市東小学校6年 米廣(よねひろ) 朋留(ともる)

